

News Release

第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者を発表

～全国の小中高校生が「ミシンを使ったものづくりに挑戦」～

2025年2月18日
一般社団法人日本縫製機械工業会
会長 内梨 晋介

一般社団法人日本縫製機械工業会は、第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの受賞者を決定しました。

このコンクールは、全国の小学校(4、5、6年生)・中学校・高等学校の生徒の皆様にも、ものづくりの楽しさを体験し、ミシンに親しんでいただくため、1979年から始めました。本年度は、全国から324校、1,925点の応募があり、厳正な審査を経て経済産業大臣賞・作品名「My best デニムセットアップ」など各賞を決定致しました。

報道関係の皆様へ

3月1日(土)13時30分より日本工業倶楽部にて表彰式を行うことといたしました。

報道関係各位には是非取材をして頂き、作品コンクールに関する記事を紙面で取り上げて下さるようお願いいたします。

また、学校関係者への取材をご希望される際は、問い合わせ先まで、事前にご連絡をお願い致します。

1. 主な受賞者

経済産業大臣賞 (※現在、申請中です)

小学生の部	吉田 暁子(よしだ あこ)さん ヴァレイソーイングジャム本校 (河合町立河合第二小学校) (奈良県)	My best デニムセットアップ
中学生の部 小物・インテリア作品部門	城間 一乃(しろま いちの)さん 沖縄カトリック中学校(沖縄県)	秋色のバニティケース
中学生の部 衣服作品部門	瀬川 ももこ(せがわ ももこ)さん 掛川市立東中学校(静岡県)	透かし編みニットのリンクコーデ
高校生の部 小物・インテリア作品部門	伊志嶺 真弥(いしみね まや)さん 沖縄カトリック高等学校(沖縄県)	母に贈る旅行セット
高校生の部 衣服作品部門	加藤 小春(かとう こはる)さん 千葉県立佐倉東高等学校(千葉県)	メイド

文部科学大臣賞

小学校の部	市川市立富美浜小学校(千葉県)
中学校の部	茅ヶ崎市立中島中学校(神奈川県)
高等学校の部	千葉県立木更津東高等学校(千葉県)

特別賞

SDGs 特別賞	長久手市立南中学校(愛知県)	※学校の取り組みに対して
SDGs 特別賞	20期生 沖縄カトリック高等学校(沖縄県)	みんなでSDGs
全国ミシン商工業協同組合 連合会 技術賞	法西 歩紀(ほうさい ふき)さん 大阪市立豊崎中学校(大阪府)	見つめるライオン

2. 第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール概要

このコンクールは、今年度で45回目を迎える歴史あるコンクールです。子供たちがミシンを使用した作品作りを通して、「ものづくりの喜び」「ソーイングの楽しさ」を体験することでホームソーイングの育成に努めミシン利用の底辺拡大を図ることを目的として実施しています。特に次世代を担う小中高校生を対象にしたコンクールであり、作品のデザイン性を評価するだけでなく、家庭科教育の基本となる縫う技術も評価の対象とし、生涯教育の基礎づくりの一助とすることとしています。

審査は、協力会員専門家による第一次審査及び有識者による第二次審査を経て、「小学生の部」623点から1点、「中学生の部：小物・インテリア作品部門」476点から1点、「中学生の部：衣服作品部門」185点から1点、「高校生の部：小物・インテリア作品部門」68点から1点、「高校生の部：衣服作品部門」88点から1点をそれぞれ最優秀賞として選考し、計5点が経済産業省から経済産業大臣賞として表彰されます。

また、本コンクールへの応募によりミシンを利用したホームソーイング教育の推進に貢献をしている学校に対し、小学校128校から1校、中学校147校から1校、高等学校49校から1校をホームソーイング振興最優秀校賞として選考し、計3校が文部科学省から文部科学大臣賞として表彰されます。

さらに、特別賞としてSDGs特別賞及び特にミシンの使い方が優れている作品に全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞1点を選考しています。

※詳細は、別紙「第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品一覧表」及び「都道府県別入賞者数一覧」参照)

3. 主催者等

主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会

後 援：経済産業省、文部科学省、全国小学校家庭科教育研究会、

全日本中学校技術・家庭科研究会、全国高等学校長協会家庭部会

協 賛：一般社団法人日本ホビー協会、全国ミシン商工業協同組合連合会、

公益財団法人日本手芸普及協会

企業協力：オゼキ株式会社、クロバー株式会社

協力会員：株式会社ジャノメ、JUKI株式会社、株式会社ハッピージャパン、

ブラザー工業株式会社



4. 表彰式後の上位入賞作品展示のお知らせ

経済産業大臣賞の展示

展示会名：2025 日本ホビーショー

会 期：2025 年 4 月 17 日(木)～4 月 19 日(土)10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）南展示棟

小 間：糸と布 WORLD 内

5. お問い合わせ先・本件リリースの情報掲載先

一般社団法人日本縫製機械工業会 業務部 水落・山下 [TEL:03-6435-8190](tel:03-6435-8190)

ホームページアドレス <https://jasma.or.jp>

リリースのリンク先 <https://jasma.or.jp/sakuhin.html>

6. 関係資料一覧

- ・第 45 回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品一覧表
- ・第 45 回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール都道府県別入賞作品数一覧表

7. その他

2025 年度も第 46 回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの実施を予定しております。詳細は、4 月頃に当工業会のホームページ (<https://jasma.or.jp>) に掲載致しますので是非ご覧ください。

<主な入選作品>

経済産業大臣賞



小学生の部

作品名 My best デニムセットアップ

氏名 吉田 暁子

学校名 奈良県 ヴァレイソーイングジャム本校
(河合町立河合第二小学校)

デニム地でセットアップを作りました。幼稚園の頃からミシンを始め、ミシン歴は6年になります。今では思い描いたものは作れるまでに成長しました。ポケットにはフラップがついていたり、ダブルステッチを入れていたり、様々な技法が取り入れられていて、縫製技術が身につけていることがよくわかります。スカートは、ウエスト部分が襟のようになっていたおしゃれなデザインです。その部分が見えるように、ジャケットの裾を少しめくって撮影しました。

経済産業大臣賞



お姉さまのためにバニティケースを作りました。外側の生地はキルティングしてあり、中央にはミシンで蝶を刺繍しています。周囲は、模様縫いで蝶が飛び回っている様子を表現したり、お姉さまのイニシャルをミシン刺繍で入れたりしました。持ち手の部分もキルティングと模様縫いを施しました。中は2段に分かれています。1段目は浅めの収納になっていて、洗濯ネットを利用したポケットもついています。2段目は深めの収納です。ポケットはピンタックや模様縫いで装飾されていて、内側もおしゃれな仕上がりです。

経済産業大臣賞



中学生の部 衣服作品部門

作品名 透かし編みニットのリンクコーデ

氏名 瀬川 ももこ

学校名 静岡県 掛川市立東中学校

ニットワンピースにインナーの半袖ワンピース、ニットのカットソーにインナーのタンクトップとパンツの5点です。着やすい服を求めて、肌触りの良いジャージー生地など伸縮性のある素材に挑戦しました。ワンピースとカットソーは同じニット生地ですが、インナーの色が変わることでニットの模様の印象が異なってくるところがポイントとなっています。どれも難しい生地ですが、4本糸のロックミシンを使って大変きれいに縫製されています。

経済産業大臣賞



高校生の部 小物・インテリア作品部門

作品名 母に贈る旅行セット

氏名 伊志嶺 真弥

学校名 沖縄県 沖縄カトリック高等学校

旅行好きのお母さまのために作りました。4点とも外側の生地は全てキルティングされています。ポーチの外周を囲んでいるレースは、2本のレースを並べて模様ステッチで繋ぎ合わせて1本にしたものを使用しています。内側はミシンでイニシャルやお花の刺繍を入れて華やかになっています。バッグの表面は三つ編み模様のようなデザインのキルティングです。内側にはポケットが複数あって、とても使いやすそうです。4点とも大変クオリティの高い作品です。

経済産業大臣賞



高校生の部 衣服作品部門

作品名 メイド

氏名 加藤 小春

学校名 千葉県 千葉県立佐倉東高等学校

胸当て部分のレースの重ね方やボタンのデザインを全て変えるなど、細かい所までこだわって作りました。ワンピースも襟に異素材を使用しています。またスカート部分は、縦に数か所ギャザーを寄せているので裾が大きなウェーブ状になっています。シンプルなメイド服に見えますが、随所にこだわりが散りばめられているオリジナリティ溢れる作品に仕上がりました。しっかりと基本ができていて、縫製技術のレベルの高さが分かる作品です。

SDGs 特別賞



学校名 愛知県 長久手市立南中学校

※学校の取り組みに対して

サイズアウトした洋服などを利用して手さげやエコバッグなどにリメイクする活動に取り組み、3年生が毎年応募していただきます。今年も275点の応募がありました。日頃の感謝の気持ちを込めて、家族へのプレゼントとして製作する生徒さんも多数いらっしゃいます。生徒さんの思いを拝読すると、どのように縫製すれば裁断ゴミが出ないか、何に生まれ変わったら廃棄予定の物が価値あるものになるのか、様々な試行錯誤を経て物に対する愛着、責任等を感じ取っていることが伝わってきます。このような学びの多い活動が評価されての受賞です。

SDG s 特別賞

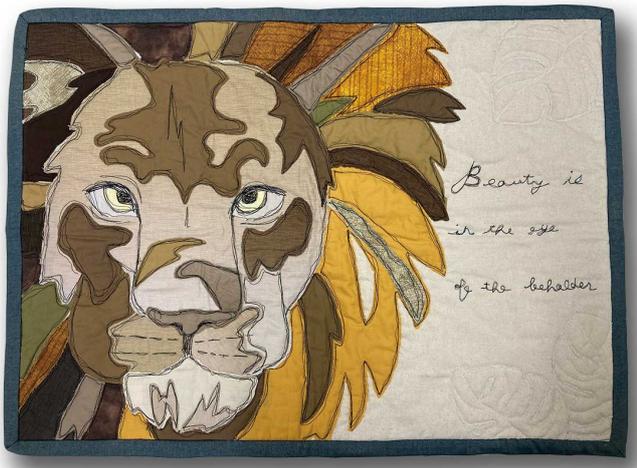


作品名	みんなで SDGs
氏名	20 期生
学校名	沖縄県 沖縄カトリック高等学校

2 年生が技術・家庭科の授業で作ったバッグです。SDGs に関連したデザインを考えました。例えば食べ物がデザインされたバッグは、SDGs の「1 貧困をなくそう」と「2 飢餓をゼロに」を表現しています。バッグ自体もポケットを 3 つけるなど、使い勝手よく出来ています。バッグ作りをゴールとせず、今後も SDGs の目標達成のために相互に協力し合う大人へと成長されることを期待しています。

特別賞

全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞



作品名	見つめるライオン
氏名	法西 歩紀
学校名	大阪府 大阪市立豊崎中学校

様々な布を使うことで心の不安や葛藤を表現し、またライオンの表情は自分の未来を思い描き思索する様子を表しています。生地 of 縫いつけや文字にはフリーモーション技法を用いました。ミシンにはたくさんの技法やステッチの活用法があり、作品製作に多くの可能性をもたらしてくれます。フリーモーションもその 1 つです。フリーモーションで輪郭や瞳を描くことでラフ画のような雰囲気になり、不安や葛藤、未来を思索する表情がより強調されて伝わってきます。